

様式第五十の三（第48条第6項関係）

認定事業再編計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

2023年9月11日

2. 認定事業再編事業者の名称

株式会社京都銀行

3. 認定事業再編計画の実施期間

2023年10月～2026年3月

4. 事業再編に係る事業の達成状況等

(1) 事業再編に係る事業の達成状況

認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

（事業の構造の変更）

当行は2023年10月2日付で、事業再編計画に掲げたとおり当行の単独株式移転により持株会社である株式会社京都フィナンシャルグループを設立するとともに、グループ内事業会社の組織再編を実施し、持株会社体制に移行した。

加えて、2023年10月31日付で京銀リース株式会社（旧商号：京銀リース・キャピタル株式会社）を完全子会社化した。

＜新設会社＞

名 称：株式会社京都フィナンシャルグループ

住 所：京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地

代表者：取締役社長 土井 伸宏

設立日：2023年10月2日

資本金：40,000,000,000円

＜株式移転を行った会社＞

名 称：株式会社京都銀行

住 所：京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地

代表者：取締役頭取 安井 幹也

資本金：42,103,734,537円

＜株式移転比率＞

1（持株会社）：1（京都銀行）

(前向きな取組)

持株会社体制へ移行し、「コンサルティング強化」、「DX推進」、「人的資本経営の実践」の各テーマをベースとして、新会社の設立やM&A等による事業領域の拡大、データ活用基盤(SIC)構築や生成AIの導入等によるデータを活用する体制の構築、グループ役職員が幅広い事業領域において各人の能力を発揮・拡大できるようグループ全体での多様なキャリアパスの整備に取組み、お客さまや地域の課題解決・ニーズにお応えできるようグループ総合力の強化をはかった。

こうした取組みを通じてグループシナジーを最大化することにより、2026年3月期のコア業務粗利益に占める収益シナジーの構成比を5.5%とする計画に対して、実績は5.0%となった。金利上昇による貸出資金利益の増加や政策保有株式(当行子会社を含む)の受取配当金が当初計画を大きく上回った結果、収益シナジーの構成比は5.0%であったものの、収益シナジーの実績額は当初計画対比118%と順調に増加した。なお、当行子会社からの臨時的な配当金を除く実質的なコア業務粗利益ベースでの収益シナジーの構成比は5.6%であり、グループシナジーの発揮により、収益力を向上させることができた。

(2) 生産性の向上を示す数値目標の達成状況

生産性の向上については、2026年3月期における従業員1人あたり付加価値額を2023年3月期と比べて7%以上向上させることを目標としていたところ、実際には23.4%向上した。

財務内容の健全性の向上については、2026年3月期における有利子負債は、キャッシュフローの10倍以内とする目標に対して、実績は▲7.8倍となった。また、経常収入が経常支出を上回る目標に対して、実績は経常収支比率が163.3%となり、経常収入が経常支出を上回った。

5. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数

株式会社京都銀行	3,353人
株式会社京都フィナンシャルグループ	0人

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

株式会社京都銀行	計画	3,312人	実績	3,460人
株式会社京都フィナンシャルグループ	計画	11人	実績	22人

(3) 事業再編に充てた従業員数(2026年3月実績)

株式会社京都銀行	計画	3,312人	実績	3,460人
株式会社京都フィナンシャルグループ	計画	11人	実績	22人

(4) (3)中、新規採用された従業員数(2026年3月までの実績)

株式会社京都銀行	計画	560人	実績	676人
----------	----	------	----	------

株式会社京都フィナンシャルグループ	計画	0人	実績	0人
-------------------	----	----	----	----

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数 (2026年3月までの実績)

株式会社京都銀行	出向	計画	11人	実績	29人
	転籍	計画	0人	実績	0人
	解雇	計画	0人	実績	0人
株式会社京都フィナンシャルグループ	出向	計画	0人	実績	0人
	転籍	計画	0人	実績	0人
	解雇	計画	0人	実績	0人

以 上